

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	りゅ ちよん しる 柳 晴 実
タイトル	ほ ご けいしょうご ほ ぶん かきょういく きかい ほしょう いくせい 母語(継承語)・母文化教育の機会を保障し、子どもたちのアイデンティティを育成 するための仕組み作り
ないよう 内容	ようしょうき ほ ご ほ ぶんか ふ べんきょう ほしょう じぎょう こうちく ①幼少期から母語・母文化に触れ、勉強できる場を保障する事業の構築。 けんりつこうこう ほ ご じゅぎょう じっし だい がいこくご ほ ご けいしょうご じゅぎょう ②県立高校での母語授業の実施。＊第2外国語ではなく「母語(継承語)授業」 がいこくじん がいこく じんさい い ば こうし 外国人コミュニティや外国につながりのある人材を活かせる場として講師の いくせい し や い 育成も視野に入れたい。
りゆう 理由	げんさい かながわけん す がいこく かず ぞうか おや 現在、神奈川県に住んでいる外国につながる子どもの数は、増加しています。親が らいにち せいかつきばん づく こ じょう おお 来日して生活基盤を作り、子どもを呼び寄せることが多くなってきています。 らいにちご にほん く つづ こ にほん う こ 来日後、日本での暮らしを続ける子どもたち、また日本で生まれた子どもたちの せいじょう いくせい ほ ご ほ ぶんか まな きかい ほしょう 成長、アイデンティティの育成において、母語や母文化を学ぶ機会を保証しサポートする必要があると考えます。保護者は毎日の仕事や生活中に追われ、家庭内で ほ ご ほ ぶんかきょういく じっし むずか がごこうきょういく ちいきかつどう なか まな 母語・母文化教育を実施するのはとても難しく、学校教育や地域活動の中で学べ る機会を保障することがとても大切だと考えます。
<p>①神奈川県内で実施されている母語教室は6か所(スペイン語、ポルトガル語、ミャンマー語、タイ語など)、民族学校やコミュニティ内で行われているものもあるが、限られている。それぞれがNPO法人や個人の尽力により実施されているケースが多いのが現状です。すでに個人やNPO団体が実施する事業を支える基金などは存在しますが、日本語教育の推進のように、神奈川県が積極的に母語・母文化教育の重要性を認め、その機会を保障する施策や取り組みを作ってほしいと考えます。</p> <p>けんない ほ ご きょうしつ 県内の母語教室：<a href="https://www.kif.jp.org/classroom/native-list/">https://www.kif.jp.org/classroom/native-list/</a></p> <p>②外国につながる高校生が母語(継承語)に触れ、学ぶ機会を得ることは、アイデンティティ形成においてとても重要だと思います。</p> <p>かながわけんりつこうこう つるみそうごうこうとうがっこう ちゅうごくご かんこくちょうせんご よこはま 神奈川県立高校では鶴見総合高等学校(スペイン語、中国語、韓国朝鮮語)、横浜 こくさいこうとうがっこう ちゅうごくご かながわそうごうこうとうがっこう 国際高等学校(中国語、ハングル、アラビア語、ドイツ語)、神奈川総合高等学校 (ドイツ語、スペイン語、フランス語、ハングル、中国語)で第2外国語として実施。 がいこくご まな ほ ご けいしょうご まな きかい 「外国語」として学ぶだけではなく、「母語・継承語」として学ぶ機会としてとら え、神奈川県の現状に合わせて言語の検討や外国につながる生徒が多い高校に広 げられるようにしたいと考えました。</p> <p>おし がわ いくせい たいせつ にほん そだ わかもの かつやく ば かくほ こうこうせい 教える側の育成も大切で、日本で育った若者が活躍する場の確保、そして高校生に じぶん しょうらい かんが で あ ば いみ とつて自分の将来を考えるうえで、モデルケースと出会う場としての意味もある</p>	

	<p>かんが と考えます。</p> <p>また、外国につながる高校生だけでなく、日本人の生徒にとっても、今後の多文化 共生社会を築いていくうえで、とてもいい学びの機会になると考えます。</p> <p>(参考) 大阪府立門真なみはや高校の母語(第一言語)授業(これまでに、中国語、 フィリピノ語、タイ語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、英語等)  <a href="https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html">https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html</a></p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討し ています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>●神奈川県における母語・母文化教育の現状 ●外国人保護者の意見交流会</p>

ていてんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	りゅ ちよん しる 柳 晴 実
タイトル	がいこくせきけんみん かいぎ かん こうほうかつどう じゅうじつ 外国籍県民かながわ会議に関する、広報活動の充実
ないよう 内容	かながわけん がいこくせきけんみん けんせいさんか いつそうすす かながわ 神奈川県における外国籍県民の県政参加をより一層進めていくために、神奈川 けんみん けんみんかいぎ しゅうち こうほうかつどう じゅうじつ 県民への県民会議の周知、広報活動を充実させる。 けんみんかいぎ やくわり なか こうほうかつどう そのために、県民会議の役割の中に、広報活動（イベントなどへの参加）を盛り込 ともな よさんかくじゅう おこな みそれに伴う予算拡充を行う。 こうほうし さくせい けんとう ホームページや広報誌の作成なども検討していく。
りゅう 理由	がいこくせきけんみん かいぎ がいこくせきけんみん けんせいさんか すいしん がいこくせきけんみん みづか 外国籍県民かながわ会議は、「外国籍県民の県政参加を推進し、外国籍県民が自ら かん しょもんだい けんとう ば かくほ い ちいきしゃかい に関する諸問題を検討する場を確保するとともに、ともに生きる地域社会づくり さんかく すす もくでき ねん せつち への参画を進めること」を目的として1998年に設置されています。 きんねん かながわけん く がいこくじん ぞう かけいこう がいこくせきけんみん 近年、神奈川県で暮らす外国人は増加傾向にあるにもかかわらず、外国籍県民か かいぎ こうぼ がいこくじん げんしょう ぎみ げんいん けんみんかいぎ ながわ会議に公募する外国人は減少気味になっています。原因として、県民会議に かくせき かか し ひと すく おも ついて、国籍に関わらず知っている人がとても少ないことがあげられると思います。
ひこう 備考	こんご かながわけん たぶん かきょうせい すす がいこくせきけんみん けんせいさんか すいしん 今後、神奈川県の多文化共生を進めていくためにも、外国籍県民の県政参加の推進 だいじ とうじしゃ いけん はんえい けんみんかいぎ ひつようせい たか はとても大事であり、当事者の意見を反映できる県民会議の必要性は高まっている かんが けんみんかいぎ かんが けんみんかいぎ か な が わ け ん み ん し とも ち い き し か い づく い ち い ん と考えます。県民会議について、神奈川県民に知らせ、共に地域社会を創る一員 かつどう とうじしゃ いけん けんせい い ぱ として活動していること、当事者の意見を県政に活かせる場があることを、もつ し ち い き し か い さ ン か く う な が と知ってもらうことで、地域社会への参画を促していくことを、 けんみんかいぎ かつどう し き か い き そのため、県民会議の活動を知らせる機会を増やして、アピールしていく必要が おも たと けんない たぶん かきょうせい かんれん あると思います。例えば、県内の多文化共生に関連するイベントへの参加、ホー こうほうし さくせい ひろ がいこくせきけんみん がいこく けんみん いけん あつ ームページや広報誌の作成、広く外国籍県民や外国につながる県民の意見を集め しき づく かつよう ることできる仕組み作り（HPの活用）など。

**ていげんこうそう 提言構想メモの記入様式**

<b>なまえ 名前</b>	李 周殷
<b>タイトル</b>	県立高校にて「多文化共生社会での国際理解教育」について
<b>ないよう 内容</b>	<p>県立高校にて国際理解講座を設置し、異文化を学ぶ。</p> <p>横浜市では、市立小学校にて1年間一つの国のこと学ぶ授業があります。1年間、小学校全校生を対象にすることです。コマ数、授業の内容は物足りないところが多いと思います。</p> <p>高校にてコマ数も増やし、授業も実質的な内容を取り扱う。</p> <p>–1年間外国人の講師を招き、</p> <p>–世界のいろんな国・社会・経済・文化について</p> <p>–世界から見られている日本社会について学んでいく。</p> <p>–さらに、様々な形で世界の高校生たちとの交流の場を作る。(On/Off)</p>
<b>りゆう 理由</b>	<p>県立高校にて多文化共生社会での国際理解教育を普及・拡大させていただきたいです。現在神奈川県には日本をはじめ、外国人が大勢住んでいます。共生していくためには、お互いに相手のことを学んでいく、分かっていくことが大事と思っております。外国人は来日し、日本の文化と言葉を学ぶ機会がたくさんありますが。日本人には、自分から求めないとなかなか異文化を学ぶチャンスはないと思いません。社会人になる前、学校にて国際理解教育という概念から機会を与えたらいかがでしょうか？異文化について学んだあと、社会に出たら国際人になっている自分を彼らは感じられることができるんじゃないでしょうか？</p>
<b>ひこう 備考</b>	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">[ 多文化共生、広報 ]</p>

ていけんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	くらはし 倉橋 ジェラルデン
タイトル	にほん がいこくじん こうれいか しんてん 日本における外国人の高齢化の進展
ないよう 内容	がいこくじんこうれいしや た げん ごしえん 外国人高齢者多言語支援ラウンジ、外国人高齢者が学び、意見交換できるスペー スを作りたい。
りゆう 理由	か な が わ す がいこくじん ・神奈川に住む外国人のニーズを考えてみると、多くの外国人が日本で高齢期を むか き う ご むか 迎えていることに気づきます。老後を迎えるにあたり、多くの人が、ゆったりとく つろぎ、楽しみながら学び、過ごせる場所を求めていました。日本人 と気軽に交流できない外国人高齢者のために、多言語で生活システムに関する そ う だ ん う に ほん う ご た の す て い き う 相談やアドバイスを受け、日本での老後を楽しく過ごすためのヒントを提供でき るような場を作ることを提案します。
びこう 備考	こんご かいぎ ていけんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし 今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを けんとう がくしゅう 検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ き ぼ う き に ゆ う 希望するテーマがあれば、記入してください。 か な が わ け ん ない がいこくじんこうれい 神奈川県内に外国人高齢はどのくらいありますか知りたい。 ]

ていげんこうそう きにゅうようしま  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	ゆ ぱいれい 俞 培麗
タイトル	がくしゅうしえん こうりつこうこうじゅけんとくべつぼしゅう しがんしかく 学習支援（公立高校受験特別募集の志願資格）について
内容	<p>かながわけんがいこくじんとうこうこうじゅけんとくべつぼしゅう しがんしかくちゅう 神奈川県外国人等高校受験特別募集の志願資格中に れいわ ねんにゅうがくしゃせんばつ にゅうこくご ざいりゅうきかん ねんいない ねんいない 「令和4年入学者選抜は入国後の在留期間が3年以内から6年以内に こうしん 更新した。</p> <p>かながわけんがいこくじんとうこうこうじゅけん とくべつぼしゅうわく ふ ①神奈川県外国人高校受験の特別募集枠が増えてほしい。 しがんしかくなかざいりゅうきかんねんすう ねん みじか きぼう ②志願資格中 在留期間年数は6年から短くなって希望です。 がくしゅうしえん こく えい すうかもく おお しゃかい りか がくしゅうしえん ふ ③学習支援は国、英、数科目の多い、社会と理科の学習支援を増やして ほしい。</p>
理由	<p>ねん かながわんざいじゅうがいこくじん まいとし さいけんとくべつぼしゅうわく かくだい ①2023年から、神奈川県在住外国人が毎年増えていますので在県特別募集枠が拡大 してほしい。</p> <p>にほん こうこう しんがく じゅけん ひつよう かいがい こうこうせい らいにちごしんがく ②日本の高校へ進学する受験が必要です、海外での高校生は来日後進学できず、 ねんぎむきょういく お ねんかんこうこう (9年義務教育は終わりました。) その子供たちはフリースクールで1年間高校 じゅけん べんきょう げんえきちゅう こ いつしょ じゅけん 受験ための勉強をして、現役中3の子どもたちと一緒に受験するしかない。 がくしゅうしえん きほん こく えい すう しゃかい りか あ 学習支援は基本の国、英、数より社会と理科を増えてほしい。 かいがい らいにち こども にほん しゃかい りか にがて ひと おお じゅくでん こくふく 海外から来日の子供たちは日本の社会と理科を苦手の人が多い、弱点を克服する にほん こうこうじゅけん えら がつこう あ みち ひろ なら日本の高校受験で選べる学校が増えて道が広がる。 やかんこうこう ひと せんたく ③夜間高校が一つ選択。</p>
備考	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討し ています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>きぼう きにゅう 希望するテーマがあれば、記入してください</p> <p>にほん せいかつ にほん しゃかい なじ にほん しゃかい りか べんきょう 日本で生活する、日本の社会で馴染むは日本の社会と理科を勉強しなければなら がくしゅうしえん こく すう えい しゃかい りか かもく ひつよう おも ない。学習支援は国、数、英、社会と理科5科目が必要と思います。</p>

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	<p>おう そう 王 爽&lt;2&gt;</p> <p>ていてん ぐたいか おこな ないよう しゅうせい ※提言の具体化を行い、内容を修正した</p>
タイトル	<p>ざいりゅう こうしん ともな かんれんてつづ かん そうごうでき じょうほうていきょうたいせい せいび 在留カード更新に伴う関連手続きに関する総合的な情報提供体制の整備について。</p>
ないよう 内容	<p>ざいりゅう とくべつえいじゅうしゃしようめいしょ こうしん ともな ひつよう かんれんてつづ 在留カード・特別永住者証明書の更新に伴い必要となる関連手続きについて、 けん ちゅうしん がいこくじんじゅうみん たい そうごうでき わ じょうほうていきょう おこな 県が中心となり、外国人住民に対して総合的かつ分かりやすい情報提供を行う たいせい せいび 体制を整備する。</p>
	<p>ぐたいてき ざいりゅう こうしん じ き こうしんご あわ てつづ ひつよう 具体的には、在留カードの更新時期や更新後に併せて手続きが必要となるマイナ ンバーカード、住民票、健康保険等について、一覧性のある多言語資料を作成し、 けんこうしき たぶん かきょうせいかんねん がいこくじんそうだんまどぐちとう かつよう 県公式サイトや多文化共生関連ポータル、外国人相談窓口等で活用する。また、 しちょうそんまどぐち きょうつう しょう あんない せいび けん 市町村窓口において共通して使用できる案内ツールを整備するとともに、県の がいこくじんむ とう かつよう ちゅうういかんき じょうほうはっしん おこな 外国人向けSNS等を活用した注意喚起や情報発信を行う。</p> <p>けんない はあく そうだんじれい かだい かんけいき かん くに しゅつにゅうこく あわせて、県内で把握された相談事例や課題については、関係機関や国（出入国 ざいりゅうかんりちょう きょうゆう わ あんない じつけん む れんけい すす 在留管理庁）と共有し、より分かりやすい案内の実現に向けた連携を進める。</p>
りゆう 理由	<p>びこう かんれんじょうほう 備考（関連情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわ会議（第8期）提言</li> </ul> <p>（3-1）旧外国人登録証明書から在留カード、特別永住者証明書の切り替えおよび更新時期に日本の免許証と同じように更新案内の通知を送付すること。</p> <p>&lt;<a href="https://www.pref.kanagawa.jp/documents/115873/implementation_status_8th.pdf">https://www.pref.kanagawa.jp/documents/115873/implementation_status_8th.pdf</a>&gt; P2</p> <p>FB：(1)については、他団体から出ている要望書も踏まえ、「国への要望」を行った。</p>
りゆう 理由	<p>すでに くに ようぼう おこな げんば いぜん わ のこ ※既に国への要望は行われていますが、現場では依然として分かりにくさが残っ けん いま ぐたいてき たいおう ていげん ているため、県として今できる具体的な対応を提言しています。</p> <p>ざいりゅう こうしん じ き こうしんご ひつよう てつづ じゅうぶん りかい 在留カードの更新時期や更新後に必要な手続きが十分に理解されておらず、マイ ナンバーカード等の更新漏れにより、行政サービスの利用や日常生活に支障が じょう じれい み 生じる事例が見られる。</p> <p>ほんかだい かいぎ だい き るいじ ていげん おこな 本課題については、かながわ会議（第8期）においても類似の提言が行われてお けん ただんたい ようぼうしょ ふ くに ようぼう じっし かいどう しめ り、県からは他団体からの要望書も踏まえ「国への要望」を実施したとの回答が示 いっぽう げんじてん がいこくじんじゅうみん わ あんない し されている。一方で、現時点では外国人住民にとって分かりやすい案内の仕組み じゅうぶん せいび い がた ぐたいてき かいぜん すす じょうきょう み が十分に整備されたとは言い難く、具体的な改善が進んでいない状況が見受け られる。</p>

	<p>在留カード更新手続き自体は国の所管であるが、更新に伴う生活上の関連手続きは市町村や各機関に分散している。市町村を横断して情報整理できる県が主体的に関与し、国への要望に加えて県レベルでの情報提供を進めることで、外国人住民の不安軽減とトラブルの未然防止につながる。</p>
<b>備考</b>	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>なし</p>

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	おう そう 王 爽<3>
タイトル	がいこくめんきょきりかえ こんざつ けん じったいはあく おこな けんけい れんけい くに ようぼう 外国免許切替の混雑について、県が実態把握を行い、県警との連携と国への要望 つう かいぜん はか を通じて改善を図る。  ※提言の具体化を行い、内容を修正した
ないよう 内容	<p>① 実態把握・データ整理</p> <p>けん しゅたい けんけいさつほんぶ れんけい い か じったい はあく せいり 県が主体となり、県警察本部と連携しながら、以下の実態を把握・整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国運転免許切替希望者数の推移</li> <li>・書類審査・筆記試験・実技試験それぞれの待機期間</li> <li>・予約方法（電話・ネット等）による課題の整理</li> <li>・利用者（外国人）からの相談・困りごとの傾向</li> </ul> <p>これらデータを整理・可視化し、課題を県として明確にする。</p> <p>② 県警察本部との調整・連携の強化</p> <p>じったいはあく けんとう よ 実態把握の結果を踏まえ、県が調整役となり、県警察本部に対して次の点について協議・検討を呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査および筆記試験へのネット予約導入の可能性</li> <li>・試験の受付枠や実施体制の見直しによる混雑緩和</li> <li>・人員配置や業務効率化による運用改善</li> </ul> <p>県単独では制度運用を変更できない部分についても、県警との連携により改善の余地を探る場を設ける。</p> <p>③ 国（警察庁）への要望・意見集約 ※必要性要検討</p> <p>けんない じゅうめん かだい せいり うえ けん くに けいさつちょう たい い か ようぼう 県内の実態や課題を整理した上で、県として国（警察庁）に対し、以下を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な制度・運用見直しの検討</li> <li>・ネット予約導入などの標準化に向けた方針提示</li> <li>・人員・予算措置を含めた支援の検討</li> </ul> <p>県が窓口となって意見を集約し、現場の声を国へ届ける。</p>
りゆう 理由	がいこくじんじゅうみん ぞうか うんてんしゅぶそく たいおう はいいけい がいこくうんてんめんきょきりかえてつづ 外国人住民の増加や運転手不足への対応を背景に、外国運転免許切替手続きの 需要は今後も増加すると見込まれる。一方で、現行の運用では予約の取りづらさや 待機期間の長期化が、外国人の就労や日常生活に影響を及ぼしている。

	<p>これらの課題は県警察本部のみの問題ではなく、外国人住民の生活支援や多文化共生を推進する県全体の課題である。</p> <p>県が主体的に実態を把握し、県警との連携および国への要望を行うことで、現実的かつ段階的な改善が期待できる。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p>

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	ドン フン タオ
タイトル	AI × 外国人材育成による 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクト
ないよう 内容	<p>神奈川県における外国人材の育成と地域定着を目的として、以下の施策をAI技術と連携しながら段階的に実施します。</p> <p>(1) AI日本語・職業スキル教育プラットフォームの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIが個々の外国人の理解度・職種・母語に応じて学習内容を最適化(介護・製造・飲食・ITなど)</li> <li>発音矯正や自動翻訳機能付きの会話練習アプリも連携</li> </ul> <p>(2) AIによる生活・行政支援サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人が直面する「医療」「子育て」「行政手続き」などに関して、LINEやWeb経由で使えるAIチャットを設置</li> <li>対応言語: 英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語など</li> </ul> <p>(3) 企業・地域団体とのマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIが人材のスキルデータをもとに適切な職場・地域ボランティア・NPO活動をマッチング</li> <li>離職や孤立を防ぎ、コミュニティ定着を促進</li> </ul> <p>(4) 行政・教育機関向けダッシュボードの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人材の学習進捗・定着状況・相談履歴をAIで分析し、政策判断に活用</li> <li>効果検証しながら、横浜・川崎・藤沢などのモデル自治体から順次展開</li> </ul>
りゆう 理由	<p>(1) 労働力確保と産業維持のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県では 2040年までに高齢化と生産年齢人口の急減が予測されています。</li> <li>外国人材は今後、介護・物流・建設・製造など県内主要産業の中核を担う存在となります。</li> <li>早期育成と定着支援をAIで効率化することで、人手不足への備えが可能になります。</li> </ul> <p>(2) 「定着支援」が他県との差別化ポイントになるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の愛知県・大阪府も外国人材活用を推進していますが、教育・定着のインフラ整備にはまだ課題が残っています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県が AI を活用した支援体制をいち早く整備することで、**「外国人に選ばれる県」「企業に選ばれる県」**としてリードできます。</li> </ul>
	<p><b>(3) 災害・感染症時の多言語対応の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震・台風・感染症などの非常に、AI による自動翻訳・緊急連絡体制があれば外国人住民の命を守れます。</li> <li>これは住民全体の安全にもつながる、極めて実用的かつ差別のない施策です。</li> </ul>
	<p><b>(4) 観光・グローバル人材戦略とも連動可能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育を受けた外国人材が、観光・貿易・文化交流の担い手となることで神奈川県の国際化を牽引できます。</li> <li>特に留学生や技能実習生が神奈川に長く住み続ける流れが生まれれば、人口減少の歯止めにもつながります。</li> </ul>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p>

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	バジベル
タイトル	交流のイベントを増やす
ないよう 内容	<p>異なる文化や価値観を持つ人々が直接交流すること。国際社会に繋がることがあります。</p> <p>「ふるさと紹介」「日本語スラングを使ってみよう」など、テーマを設けた会話イベントも効果的</p> <p>日本人も参加しやすいように、料理、音楽、スポーツなどの趣味を活かした交流を設計。</p> <p>お年寄りと若者の交流として、昔話を聞く会や茶道体験などを企画</p> <p>外国人が日本の夏祭りに参加して食文化を共有する</p> <p>バイリンガル広報、興味ベースのイベント、SNS活用、特典提供</p>
りゆう 理由	<p>外国人の増加データを確認しました。</p> <p>外国人住民の増加に伴い、互いに支え合いながら生活する、日常的な交流の機会を増やすことが不可欠である。</p>
ひこう 備考	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>[<a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/kanafan/index.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/kanafan/index.html</a>]</p>

ていてんこうそう きゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	はんちゃんひ 韓昌熹
タイトル	たぶんかきょうせいぼうさい 多文化共生防災パートナーシップ (神奈川モデル) かいぎそうせつていあん 会議創設提案
ないよう 内容	<p>(会議で話し合いたいこと)</p> <p>かなかがわけんない がいこくせきけんみん さいがいじしえん えんかつか かいぎそうせつていあん 神奈川県内の外国籍県民への災害時支援を円滑化するため、平時から官民・国籍 おうだん こうちく ていあん けん 横断のネットワークを構築することを提案する。県の災害多言語支援センターに くわえ がいこくじん たいしかん こくさいこうりゅうきょうかい みんかんきぎょう 加え、外国人コミュニティ、大使館、国際交流協会、民間企業、NPO 等が参画す たそくてき れんけいいたいせい との へいじ じょうほうきょうゆう くんれん だんたい はあく おこな さいがい る多層的な連携体制を整え、平時には情報共有・訓練・団体の把握を行う。災害 はっせいじ がいこくせきけんみん じょうきょうはあく じょうほうでんたつ こくがい みんかん しえんうけい 発生時には、外国籍県民の状況把握、情報伝達、国外・民間からの支援受入れな ぎょうせいたんじく こなんん きのう きょうどう ほかん さいがいじやくしや しえん じんそくか ど、行政単独では困難な機能を協働で補完し、災害弱者への支援を迅速化する 「ネットワーク」を創設する。</p> <p>しゅようきのう ネットワークの主要機能</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平時 (年間1~2回) <ul style="list-style-type: none"> <li>じょうほうきょうゆう けん ぼうさいじょうほう せいどせつめい 情報共有、県からの防災情報・制度説明</li> <li>だんたいじょうほう たなおろ にんずう しえんりょくとう 団体情報の棚卸し (人数、支援力等)</li> <li>こくせきべつだんたい かお 国籍別団体との顔つなぎ</li> </ul> </li> <li>2. 災害時 <p>じょうほうでんたつ いっせいきどう 情報伝達ラインの一斉起動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かくだんたい じょうきょうはあく ひがい ゆくえふめい しえん 各団体に状況把握 (被害・行方不明・支援ニーズ) を依頼</li> <li>ぶつし じんてきしえん じゅえんまどぐち いっぽんか 物資・人的支援の受援窓口の一本化</li> <li>だんたい がいこくせきじゅうみん じょうほう でんたつ 団体→外国籍住民への「情報」伝達</li> <li>がいこくじん ひなんこうどうしえん 外国人コミュニティの避難行動支援</li> </ul> </li> <li>3. 災害後 (復旧期) <p>だんたい かだいす あ 団体からの課題吸い上げ</p> <p>かくがいこくせきじゅうみん 各外国籍住民のフォローアップ</p> </li> </ol> <p>こうせいあん 構成案</p> <p>だい だんかい ちゅうかく だんたい 【第1段階：中核ネットワーク団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こくさいこうりゅうざいだん ・かながわ国際交流財団</li> <li>がいこくせきけんみん かいぎ ・外国籍県民かながわ会議</li> <li>こくさいこうりゅうきょうかい し ちょうそん ・国際交流協会 (市・町村)</li> <li>ちゅうき ばいじょう がいこくじんだんたい たいしかんふく ・中規模以上の外国人団体 (大使館含む)</li> <li>みんかんきぎょう つうしん ぶつりゅう せいかつかんれん ・民間企業 (通信・物流・生活関連)</li> </ul> <p>↓</p> <p>だい だんかい じつどう ちいき 【第2段階：実働・地域レベルネットワーク】</p>

	<p>・在日〇〇人コミュニティ (地域会)      しょうてんがい ちゅうかがい      ちいきかい</p> <p>・商店街 (中華街など)      りゅうがくせいだんたい      がくせいかい</p> <p>・留学生団体 (学生会など)      たぶんか ふくし ぼうさい</p> <p>・NPO/NGO (多文化・福祉・防災)      たぶんか ふくし ぼうさい</p>
<b>理由</b>	<p>A. 連携体制の現状把握とギャップ      がいこくせきせい      げんじょうはあく</p> <p>B. 外国籍県民への情報伝達の課題      がいこくせんみん      じょうほうでんたつ      かだい</p> <p>C. 外国人コミュニティの弱さ      がいこくじん      よわ</p> <p>D. 国外・民間の物資・人的支援の受入れ課題      こくがい みんかん ぶっし      じんてきしえん うけい      かだい</p> <p>E. 平時からの関係構築の必要性      へいじ      かんけいこうちく ひつようせい</p>
<b>備考</b>	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p>

ていげんこうそう きにゅうようしき  
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	李 方舟
タイトル	外国人心理互助会について
ないよう 内容	<p>外国人の方々のメンタルヘルス維持を支援するため、外国人心理互助会を設立したいと考えています。</p> <p>外国人の皆さんのが心の健康を維持できるよう、外国人心理互助会を設立したいと思っています。外国人心理互助会では、誰もが自分の感情や経験を共有し、互いに支え合うことができます。</p>
りゆう 理由	20~30%の人がメンタルヘルスの問題を抱えています。外国人は言語の壁や社会統合の課題により、メンタルヘルスの問題を抱えやすい傾向があります。私たちは、外国人心理互助会を通じて、外国人と住民を支援したいと考えています。
ひこう 備考	<p>1. 目的とタスク :</p> <p>外国人心理互助会の設立を通じて、外国人に心理サポートを提供します。</p> <p>このサポートグループは非臨床的なものです。</p> <p>参加者に深刻な問題があり、医療介入が必要なことが判明した場合は、心理カウンセリングや医療機関の情報を提供します。</p> <p>2. ニーズ分析 :</p> <p>私の友人の中には、メンタルヘルスの悪化を経験した人が何人かおり、今もなお苦しんでいる人もいます。</p> <p>3. 目標 :</p> <p>2年間で10人のメンタルヘルス向上を支援する。</p> <p>参加者は3ヶ月ごとに心理質問票を用いて自己評価を行う。参加期間中の改善が十分であるとみなす。</p> <p>集合場所は、利便性の高い横浜市または川崎市とする。</p> <p>4. 対象者 :</p> <p>かながわんさいじゅうしゃ おも がいこくじん 神奈川県在住者（主に外国人）</p> <p>5. 提供内容 :</p> <p>外国人向けの定期的な心理サポート活動</p> <p>6. 市場分析 :</p> <p>げんざい がいこくじんむ しんり だんたい そんざい にほん しんり がつかい こうにん 現在、外国人向けの心理サポート団体は存在しない。日本には心理学会や公認心理師協会など、既に団体は存在するが、これらの団体は本提案の目的に合致しない。</p>

7. 組織体制：  
責任者：2名

8. マーケティング計画：

チラシを印刷する。ソーシャルメディアとウェブサイトで情報を発信する。  
よこはまこくさいぶんかこうりゅう くやくしょ はいふ  
横浜国際文化交流ラウンジと区役所でチラシを配布する。

9. 運営計画：

当初は日本語と英語の両方で活動を行います。プロモーション期間の2ヶ月後から、プログラムは隔週で運営を開始し、需要に応じて調整します。  
しゅうごうばしょ ひつよう ぱあい しみん  
集合場所が必要な場合は、市民センターの会議室までご連絡ください。  
このグループは相互支援グループであるため、専門家の指導なしでも実施できます。活動が進むにつれて、専門家の指導を求めることも検討します。

10. 財務計画：

会員は少額の会費を支払い、主に会場レンタルとプロモーション費用のための一定の補助金が支給されます。

11. リスク管理：

感情的または攻撃的な行動があった場合、事務局長が介入します。緊急対応：例えば、参加者が緊急事態に遭遇した場合は、119番に電話して救急医療サービスを受けます。

参加者数が多すぎる、または少なすぎる場合は、グループを複数のグループに分けます。

12. タイムライン：

提案が承認された後、準備を開始し、その後2ヶ月間のプロモーション活動を行います。その後、運営を開始し、少なくとも3年間継続します。

13. 評価と影響分析：

参加者数、満足度アンケート、心理尺度を用いて分析を行います。

14. 結論と提言：

21世紀以降、外国人を含む多くの方々の心理的問題が深刻化しています。特に外国人は、言語や文化の違いにより、孤立感や無力感を抱きやすくなっています。私たちは、心理的相互扶助グループを通じて、こうした方々を支援していきたいと考えています。